

令和4年度

環境経営レポート



対象期間 : 令和4年4月～令和5年3月

発行年月日 : 令和5年6月12日

株式会社 理水興業

・表紙	1
・もくじ	2
1 挨拶	3
2 環境方針	3
3 事業概要&認証登録範囲	4
4 実施体制	5
5 環境目標	6
6 環境活動計画	7
7 環境目標の実績 教育訓練・避難訓練・献血活動の様子	8
8 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度以降の取組内容	9
9 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無	10
10 代表者による全体評価と見直しの結果	10
11 情報公開事項	11
12 処理方法・処理工程	12
13 受託した廃棄物の収集運搬処理量	13
14 汚泥リサイクルセンター産業廃棄物の処理工程	14
15 産業廃棄物処分及び運搬許可一覧	15
	16 ~19

1 挨拶

弊社は、創業51年を迎え創業来、生活環境の保全維持に努めてまいりました。特に水資源の循環事業には注力し、安心して引用できる水の提供から、使用され河川に排出される水を浄化、元の状態に戻し、綺麗な水として排出するまでを「一連の社業」と位置づけ、地域の皆様に安心してお使い頂いております。東北大震災から11年が経過し、積極的に協力してきました復興事業も落ち着き、現在では地域開発よりも地域環境保全が重要視され、SDG'sをはじめとする地球環境問題へ取り組みがクローズアップされております。局地的集中豪雨や異常気象など年々激減していく地球環境に対応すべく、半世紀の経験と知識を従業員並びに地域の皆様とともに、限りある資源のリサイクル化など、循環型社会の確立をめざし取り組んでまいります。

代表取締役社長

今野 秀實

2 環境方針

《環境理念》

株式会社理水興業は『永遠に美しい地球』をテーマに企業の存立基盤を確保しつつ、地域社会の一員として環境対策に積極的に取り組み、次世代へ、より美しい自然環境を引き継ぐために努力し身近な環境の保全を基軸に地域社会に貢献し、共に繁栄する企業を目指します。

《環境保全への行動指針》

- 1 当社が行う事業活動の環境に与える影響を正確に捉え、環境への負荷を低減し環境の保全活動に努めます。
 - (1) 二酸化炭素排出の削減
 - (2) ゴミの分別・削減
 - (3) 生活排水の軽減・節水
- 2 車輛運行ルート効率化とエコドライブを実践し省エネと排ガス抑制、廃棄物の再資源化に取り組み、リサイクル率を向上させます。
- 3 廃棄物の再資源化に取り組み、リサイクル率を向上させます。
- 4 現場における再資源化を考慮し、計画・設計時から廃棄物の削減をし効率的な施工方法で省資源・省エネルギーを推進します。
- 5 地域・社会貢献活動の推進に努めます。
- 6 事業活動に関連する法規制を遵守します。
- 7 全社員及び協力会社従業員にこの環境方針を周知徹底し、理解と意識の向上に努め、地域に密着した企業活動を行い活動結果を公表します。
- 8 環境経営の継続的な改善を行います。

制定日：令和3年6月24日

株式会社 理水興業

代表取締役社長 今野 秀實

3 事業概要&認証登録範囲

1 名称及び代表者名

株式会社 理水興業
代表取締役社長 今野 秀實

2 所在地

本社 岩手県花巻市星が丘2丁目16番12号
水環事業部 岩手県花巻市中北万丁目97番地
汚泥リサイクルセンター 岩手県北上市口内町松越134番地1

3 環境管理責任者及び担当者

環境管理責任者 環境事業部 部長 TEL: 0198-23-5395

4 事業活動の内容

1. メンテナンス部門

汚水処理施設（浄化槽含）の維持管理、清掃
許可番号 浄化槽保守点検業 岩手県3（登）中第3号 R4.1.7~R7.1.6
盛岡市 27-12 R4.1.7~R7.1.6~R7.1.6
浄化槽清掃業 花巻市第493-2号 R4.4.1~R6.3.31

2. 環境事業部門

(1) 産業廃棄物（特別管理産業廃棄物含）の収集・運搬（積替保管含む）、
中間処理（汚泥）・処理
(2) 一般廃棄物収集運搬業
(3) 貯水槽・油タンク等の清掃・管理、各種配管の洗浄・更生
許可番号 別途記載（P11参照）

3. 工事部門

(1) 管工事 給排水・衛生・空調・消防設備・浄化槽等の設計・施工
(2) 土木工事 水道本管・舗装・下水関連等
(3) その他の工事 電気工事 建築工事等
許可番号 特定建設業

岩手県知事（特-24）第4479号 R4.7.18~R9.7.17

一般建設業

岩手県知事（特-24）第4479号 R4.7.18~R9.7.17

排水設備工事指定 花巻市 R5.4.1~R10.3.31

大船渡市 R5.4.1~R10.3.31

紫波町 R5.4.1~R10.3.31

北上市 R5.4.1~R10.3.31

5. 主要売上 令和4年度

16億

項目	本社	水環事業部	リサイクルセンター
従業員	74	4	4
延べ床面積	646.82	131.36	41.62

6 認証登録範囲

全組織・全事業活動が認証登録範囲

7 営業範囲

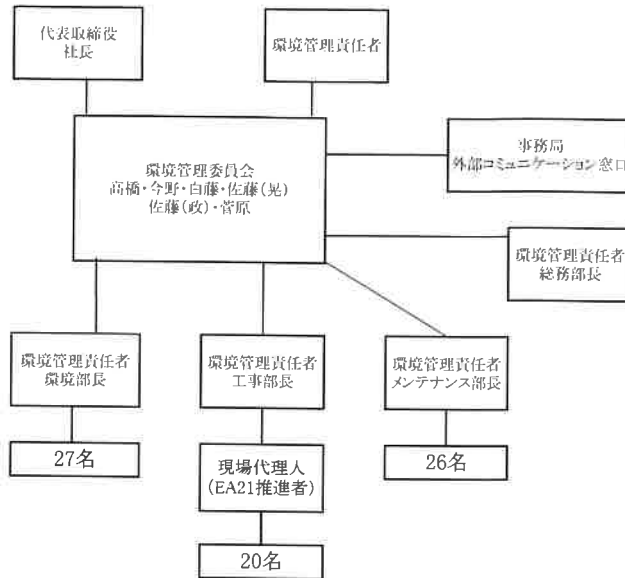
県内一円

8 社歴

昭和35年4月 浄化槽の管理（メンテナンス）・清掃を目的として創業
昭和47年9月 浄化槽の管理・清掃を主要業務として、有限会社ロクサン衛生社を設立。
昭和48年3月 有限会社花巻浄化槽センターへ商号変更
昭和53年8月 貯水槽清掃・産業廃棄物の収集運搬・処分、管工事等を追加
昭和56年11月 有限会社理水興業へ商号変更
昭和62年9月 産業廃棄物収集運搬業許可（岩手県）取得、業務開始
平成5年7月 特別管理産業廃棄物収集運搬業許可（岩手県）取得、業務開始
平成6年10月 株式会社理水興業へ組織変更
平成8年4月 産業廃棄物処分業許可（岩手県）取得、
移動脱水車による汚泥の中間処理業務開始
平成11年3月 特定建設業許可取得（特-10）4479号管工事業
平成22年3月 北上市口内町松越に汚泥リサイクルセンター
（汚泥中間処理施設）竣工・操業開始
平成27年6月 基準適合産業廃棄物処理業者認定 ★★★ 三ツ星認定取得
平成27年6月 いわて地球環境にやさしい事業所認定
平成27年9月 岩手県再生資源利用認定製品 建設系汚泥改良土【再生土R1】認定

4 実施体制

1 組織



2 役割・責任・権限

役職	役割・責任・権限
代表者（社長）	・環境経営に関する統括責任。
	・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備。
	・効果的にな実施体制の構築
	・代表者による全体の評価と見直しを実施。
	・組織の構築
	・経営に於ける課題とチャンスの整理と明確化
	・環境方針を制定し、全社員に周知させる。
環境管理責任者	・代表者に代わり、環境経営システムの構築、実施、管理を行う。
	・環境活動実績の確認、評価。
	・環境活動の取組結果を代表者へ報告。
	・環境活動レポートを確認。
環境管理委員会	・委員長は社長とし、環境管理責任者が召集する。
	・環境管理責任者の提案を審議し、決定事項を部門責任者は各部門で実施する。
	・環境活動レポートの作成、公開。
環境事務局	・環境管理責任者の補佐。
	・環境関連の外部コミュニケーションの窓口。
部門責任者	・担当部門について環境経営システムを実施し、維持する。
	・省資源、省エネ、節水等の奨励・実施・確認・是正。
	・従業員に対する教育訓練の実施。
現場工事代理人 (EA21推進者)	・新規入場者作業員への環境配慮事項緊急事態の教育指示伝達
全社員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚し、能力向上に努める。
	・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加。

5 環境目標

1 主な環境負荷の実績

主な環境負荷等の実績

項目	単位	平成30年度	令和1年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂ /年	788,632	720,047	742,523	690,656	692,472
購入電力使用量	kwh	216,114	224,319	231,964	227,142	234,034
受託産業廃棄物 (収集運搬)	t/年	13,161	19,537	9,087	12,646	13,299
受託産業廃棄物 (中間処理)	m ³ /年	7,065	6,704	7,058	6,276	6,412
産業廃棄物排出量	t/年	1,506	1,407	666	380	998
一般廃棄物排出量	kg/年	30,228	11,360	15,167	11,855	12,539
総排水量(水資源投入量)	m ³ /年	4,570	5,277	5,398	5,923	6,324

2 環境目標の設定

当社では、令和4年度の目標基準を令和2年度を基準年度として

中期及び単年度の環境目標を、それぞれ表2のとおり設定し、環境活動に取り組んでおります。

表2 環境目標

コア指標	重要度	現取組	リスク	環境目標項目	削減率又は増加率(%) 単位	基準年度 (令和2年度) 基準値	R3年度 R4年度 R5年度		
							R3年度	R4年度	R5年度
二酸化炭素排出量	2	2	3	電力の二酸化炭素排出量の削減	削減率(%) kgCO ₂	128,971.98	127,882	127,037	126,303
	2	2	3	ガソリンの二酸化炭素の削減	削減率(%) kgCO ₂	118,734.24	117,547	118,953	118,000
	2	2	3	軽油等の二酸化炭素の削減	削減率(%) kgCO ₂	472,405.33	467,981	465,319	462,957
	2	2	3	灯油の二酸化炭素の削減	削減率(%) kgCO ₂	22,240.75	22,018	21,907	21,756
	2	2	1	LPG等の二酸化炭素の削減	削減率(%) kgCO ₂	170.78	169	168	167
廃棄物排出量	3	2	3	一般廃棄物の削減	削減率(%) kg	15,167	15,035	14,939	14,834
	3	2	3	産業廃棄物の削減	削減率(%) kg	665,774	659,116	653,787	648,459
	3	2	3	特管産業廃棄物の削減	削減率(%) kg	400	396	394	392
総排水量	2	3	2	節水(上水を基準とする)	削減率(%) m ³	1,444	1,439	1,432	1,415
環境配慮 工事・製 品・サー ビス	1	1	2	環境配慮工事	増加率(%) 件	0	3	3	4
	2	1	3	エコ商品・リサイクル部品推奨	増加率(%) 件	30	31	31	31
	2	2	3	環境苦情	件	8	8	9	9
	2	1	2	顧客への提案・情報提供	件	0	3	2	2
社員教育				EA21取組み教育	回	1	3	3	3
				緊急事態訓練	回	0	3	3	3
				資質向上教育	回	0	1	1	1
地域貢献				重機類の整備・点検の徹底	%	100	100	100	100
				献血活動	人	30	40	50	50
				ボランティア	人	50	60	70	70
				地域清掃	人	50	60	70	70

重要性: 3:最も重要 2:重要 1:少し重要 現取組: 2:十分に取組んでいる 1:取組んでいる 0:取組んでいない リスク: 3:非常大きい 2:着る 1:不明

※令和3年度までは平成28年12月公表の東北電力の購入電力の二酸化炭素排出整数0.556kg-CO₂/kwhを使用した

6 環境活動計画

当社では、環境方針に基づき二酸化炭素、廃棄物、水使用量を削減し、環境目標を達成するため、従業員が丸となって省エネルギー、廃棄物の削減・リサイクル及び節水等に取組んでおります。今年度から、取組の実施状況の評価結果は、表3のとおりです。

表3 主な環境活動計画の内容と取組結果

項目	取組内容	総務	環境	工事部	メンテ	水環	評価等	
二酸化炭素排出量の抑制	照明	①昼休みなど、部屋を使用していない時は、照明消灯を確実に実行する	○	○	○	○	○	部分照明ができていたりできていなかったりとムラがあるものの、基本的にはこまめなスイッチの切り替えは行っている。
		②会議室、給湯室、社員用トイレ、倉庫、更衣室等不必要な時は、消灯している。	○	○	○	○	○	
		③事務室の部分照明を実行する。	○	△	○	○	○	
		④照明器具については、定期的な清掃、交換を行う等、適正に管理している。	○	△	△	○	○	
	冷暖房	①冷暖房の温度（冷房25℃、暖房23℃）を順守する。	○	△	○	○	○	わりとすぐに空調機を稼働させている。クールビズ、ウォームビズを徹底させた上での使用の判断を呼びかける。
		②空調を必要な区域・時間帯に限定する。	○	×	○	△	○	
		③使用していない部屋は、空調を停止している	○	○	○	○	○	
	節電	①昼休みなど、休憩時、不必要な個所は消灯する。パソコンの電源は切る。	×	×	△	△	○	意識すれば徹底できるはずの部分照明や終業時の電源の確認が出来ていないので、次年度はすべての項目が○になるように指示をする。
		②残業の時は、必要な個所のみ点灯し、業務に必要なない箇所は消灯する。	○	△	○	○	○	
		③退社時は、OA機器の待機電源は切る。	○	○	○	△	○	
		④パソコン等のOA機器や照明器具などの省エネルギー型への切り替えに取組んでいる。	○	×	○	△	○	
	車輛その他	①車両のアイドリングストップを実践する。	○	△	○	△	○	やはり夏や冬期間についてはアイドリングストップが実行されておらず、会社の近くに待機して車両で休憩をとっている者もいる。整備に関しては点検の頻度を増やすなどチェック体制は強化できている。
②急発進・急加速はしない。		○	△	○	○	○		
③冷暖房の控えめ使用		○	△	○	○	○		
④タイヤの空気圧は、適正値を保つよう定期的に調整する。		○	○	○	○	○		
⑤建設機械等の運転を停止する際は、エンジンを停止する。		△	△	○	○	○		
⑥建設機械等をリースする際は省エネルギーの機種を優先的に選定・リースする		△	△	○	○	○		
⑦最大積載量に見合った輸送単位の設定を行う。		△	○	○	○	○		
廃棄物の排出抑制	一般廃棄物	①書類の内容やレイアウトを見直し、枚数を少なくする	△	△	○	○	○	マンネリ化してきているものの、裏紙の使用や分別については徹底できている。しかしデジタル化の導入が今ひとつ進まず、紙媒体での連絡や回覧、会議資料についてももう少し取り組める部分もある。
		②同じ内容の資料や書類の写しは1冊にまとめ、複数人で利用する	△	△	○	○	○	
		③帳簿見直しによる印刷物の削減	△	△	○	○	○	
		④使用済コピー用紙、段ボール、雑誌、新聞紙等は、所定の場所に分別保管する。	○	○	○	○	○	
		⑤分別した紙ごみは、再生資源業者に引き渡し、リサイクルする。	○	○	○	○	○	
		⑥文書の共有により、不要な印刷物を削減する	△	○	△	○	○	
		⑦紙・金属缶等は、所定の保管容器に確実に分別する。	○	○	○	○	○	
		⑧コピー機のトナーカートリッジの回収、リサイクルを推進する。	○	○	○	○	○	
	産業廃棄物	①産業廃棄物管理票（マニフェスト）をもとに廃棄物の適正な処理を行う。	△	○	○	○	○	分別処理については徹底できている。
		②現場等で発生した廃棄物を分別し適正処理を行う。	△	○	○	○	○	
③在庫管理の徹底により、不良在庫を減らす。		△	○	△	○	○		
節水・排水	用水・排水	①節水の表示を行う。	○	○	○	○	○	概ね評価できる。
		②蛇口・排水管の水漏れがないか確認する。	○	○	○	○	○	
		③水道を流しながら使用しない。	○	○	○	○	○	
		④トイレ用水の節水に努める。	○	○	○	○	○	
その他	施設・設備	①事務所、及び管理施設周辺の整理整頓に心がける。	○	○	○	○	○	概ね評価できる。
社員教育	①環境関連セミナーに積極的に参加し意識を高める。	△	○	△	○	○	各部署から、必ず環境に関わる講習への参加をするようにする。	
	②朝礼、夕礼の場において社員に周知理解を高める。	△	△	○	○	○		
地域貢献	①地域のボランティア活動に積極的に参加する。	○	△	△	△	△	概ね評価できる。	
	②現場周辺の清掃活動を行う。	○	△	△	△	△		

○：評価できる △：まずは評価できる ×：評価できない

7 環境目標の実績

当社では、環境目標の達成状況の確認・評価を行いました。

今回は、エコアクション2.1を開始した令和2年度の数値を基準に今年度（令和4年）の実績についての比較を元に、評価結果を報告いたします。

表4 当該年度の環境目標の達成状況等

項目	単位	基準年	当該年度		環境目標の達成状況	
		令和2年度	削減(増加)率(%)	目標値		実績値
1、電力の二酸化炭素	kg-CO ₂	128,972	1%削減	127,682	130,113	×
2、LPGの二酸化炭素		171	1%削減	169	187	×
3、ガソリンの二酸化炭素		118,734	1%削減	117,547	11,599	○
4、灯油の二酸化炭素		22,241	1%削減	22,018	18,107	○
5、軽油の二酸化炭素		472,405	1%削減	467,681	432,453	○
6、二酸化炭素合計		742,523	1%削減	735,097	692,469	○
7、一般廃棄物	kg	15,167	1%削減	15,015	12,539	○
8、産業廃棄物	kg	665,774	1%削減	659,116	997,612	×
9、特管産業廃棄物	kg	400	1%削減	396	0	○
10、総排水量	m ³	5,398	1%削減	5,397	6,324	×
12、環境配慮製品の販売	環境にやさしい設備機器を積極的に採用する。					
13、社員教育	回	2回		3回		1回
14、その他（地域貢献）	回	2回		2回		1回

環境活動の状況

社員教育 緊急訓練* 献血活動* 地域清掃活動*

緊急時 火災避難訓練

灯油タンクからの油漏れ対応訓練の様子



全社員対象とした安全運転講習会 講師として損保ジャパンの川村様を招いて開催しました



地域貢献活動 部署それぞれ5班に分かれてゴミ拾いを行いました*

(地域貢献活動・消火訓練 7月30日実施)

消火訓練

8 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度以降の取組内容

1. 取組結果の評価

表5 主な環境活動計画の内容と取組結果

項目		実施状況の評価	達成度
二酸化炭素排出量の抑制	照明	事務処理等行う場合は、やはり照明を広めに点灯させている部署も見受けられたが、全体的には部分照明やこまめなスイッチの切り替えなど、意識して取り組めていたと思われる。	○
	冷暖房	例年に比べても、夏の暑さと冬の冷え込みが強かった今年度だったが、各部署設定温度の徹底が周知されていた様だった。また各部署においてサーキュレーターや扇風機を使用するなどの節電対策も行われていた。	○
	節電	起動時の時間の待機を懸念してか通常の勤務時間内では共有するOA機器のこまめな電源の切替が行われていない。スタンバイにするなどの工夫を呼びかけ、こまめな節電を実行する。	△
	車輛その他	仕事の受注状況により、遠方の現場が多いと燃料費も比例して増加する傾向があり、燃料の使用量はガソリンがやや増加したものの使用料の多い軽油に関しては減少することが出来た。	○
廃棄物の排出抑制	一般廃棄物	昨年の排出量に比べると増加傾向にあったが、基準年からの目標値は達成することができた。	○
	産業廃棄物	今年度はがれき(コンガラ・アスガラ)の排出量が受注工事により大量に排出されたため、数値が大幅に増量となった。しかしながら処理先がほぼリサイクルになっていた為一概に結果は悪かったとは評価されない。また特管の排出も今年度はなかった。	△
	受託産業廃棄物	依頼される廃棄物量については新規契約や、排出事業者様からのご依頼に比例して増加する為、抑制する事は困難と思われる。しかしながら極力埋立や焼却処理よりもリサイクル等処理を勧めると共に、収集運搬ルートの見直しで自社の二酸化炭素排出量を抑制する必要がある。	○
	建設副産物	この項目についても、工事受注により増加が見られるが、排出された廃棄物をリサイクル処理すること、物品の購入・分別や運搬ルートなどを見直し発生してから処分場で処理するまでの中で無駄なところがなかったかを今一度見直す余地はある。	△
節水排水	用水・排水	今年度は基準年・昨年に比べ上水の使用量は少なくなったものの総排水量が増加傾向だった。処理場での排水量が多くなった事が原因と考えられる。	×
その他の取組	施設・設備	今年度は設備更新がなかった	-
地域貢献		コロナ渦ではあったが、ゴミ拾い、清掃活動、献血など予定通りに活動ができた。	○

○：評価できる、△：まずまず評価できる、×：評価できない

2. 次年度の取組内容

(1) 二酸化炭素排出量の削減

特に数値が大きい車両燃料に関しては廃棄物運搬のルートの見直し、アイドリングストップの徹底
電気使用量については、一番使用量が多い中間処理施設での効率的な処理、無駄な使用がないか
見直しをかける

(2) 廃棄物の排出削減

工事受注、及び中間処理施設の受入状況に伴い排出量は比例して増加するため、排出量の削減は
難しい。今年度同様に、分別や在庫管理を徹底しやむを得ず排出される廃棄物に関しては
リサイクル処理を推進するように呼びかける。

(3) 節水（排水対策）

当社の事業の中で、最も使用量が多い中間処理施設の状況（汚泥の固化処理・脱水処理）
によって数値が大きく増減されるので、その中でも無駄がないか見直しをし、
他社の搬入事業者にも同様に、搬入時の車両洗車の水の使用量の削減に協力を呼びかける。

(4) 地域貢献に関する取組

例年通り、地域のゴミ拾いや献血活動を継続していく。

9 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無

環境関連法において遵守状況を確認致しましたが、違反等はありませんでした。また過去3年に於いても関係当局からの違反等の指摘、訴訟等もありませんでした。主な関連法令の遵守状況は下記となります。

No.	法令等の名称	条項	要求事項	遵守
	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (廃掃法)	第12条の3 第7項	産業廃棄物管理票交付状況報告	○
		第14条1項	産業廃棄物収集運搬業許可	○
		第14条6項	産業廃棄物処分業許可	○
		第15条1項	産業廃棄物処理施設設置許可	○
		第21条	産業廃棄物処理施設技術管理者選任	○
	水質汚濁防止法	第5条	特定施設等の設置届 (脱水施設)	○
	フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律 (フロン排出抑制法)	第16条	第1種特定製品の管理者の判断基準 ・業務用空調機器1回/3ヶ月の簡易点検	○

10 代表者による全体評価と見直しの結果

見直し項目	評価	改善及び指示
①環境経営方針	自社の事業が環境に、どの程度の負荷をかけているかの認識が低い。普段業務を行っている中での何気ない行動が燃料や電気の使用量、水の使用量を増加させているか、結果、二酸化炭素排出量に影響があるかを個人個人が意識していく必要がある。	社員全員が、環境への負荷を必ず目に見える、確認できる状態で示す事。環境管理委員だけでなく、会社全体の環境に対する意識改善が必要。
②環境経営目標	電気使用量、排水量、工事受注件数に伴い廃棄物排出量は増加したものの、基準年と比較しても二酸化炭素排出量の削減も達成できており、他項目についてもだいたいの数値を下回ることができていた。	電気使用量は、大幅な増加はなかったものの、昨今の値上げもあり経費への影響が見られた。燃料費についても燃料費についても、エネルギー量より使用量や金額を表示することで、個々の意識改善を図る。
③実施体制	部署ごとでの指示及び結果の報告がされてこない。環境管理委員会の活動も表面化されておらず、さらに特定の人に役割が集中している部分が見受けられる。	部門長がエコアクション21の取組に必要な経営資源を理解し、またそれを各部署内で勤めると共に、自らの実施体制と自らの役割を理解し、会社全体が取り組むこと。
④ 全体評価	電気料や資材費の高騰、廃棄物処理費についても各社値上げに講じており環境への負担を考慮するとともに、経費削減にも努めなければならない。SDG'sや環境問題という言葉にも最近のこの異常気象に対してもやや慣れが出てきているように見受けられる。当社が廃棄物の運搬や処理業を請負う事業であること、上水排水共に水へ大きく関わる業種だという認識を持ち、改めて自分たちがどれだけ環境へ影響があるかという事を見直す必要性がある。	

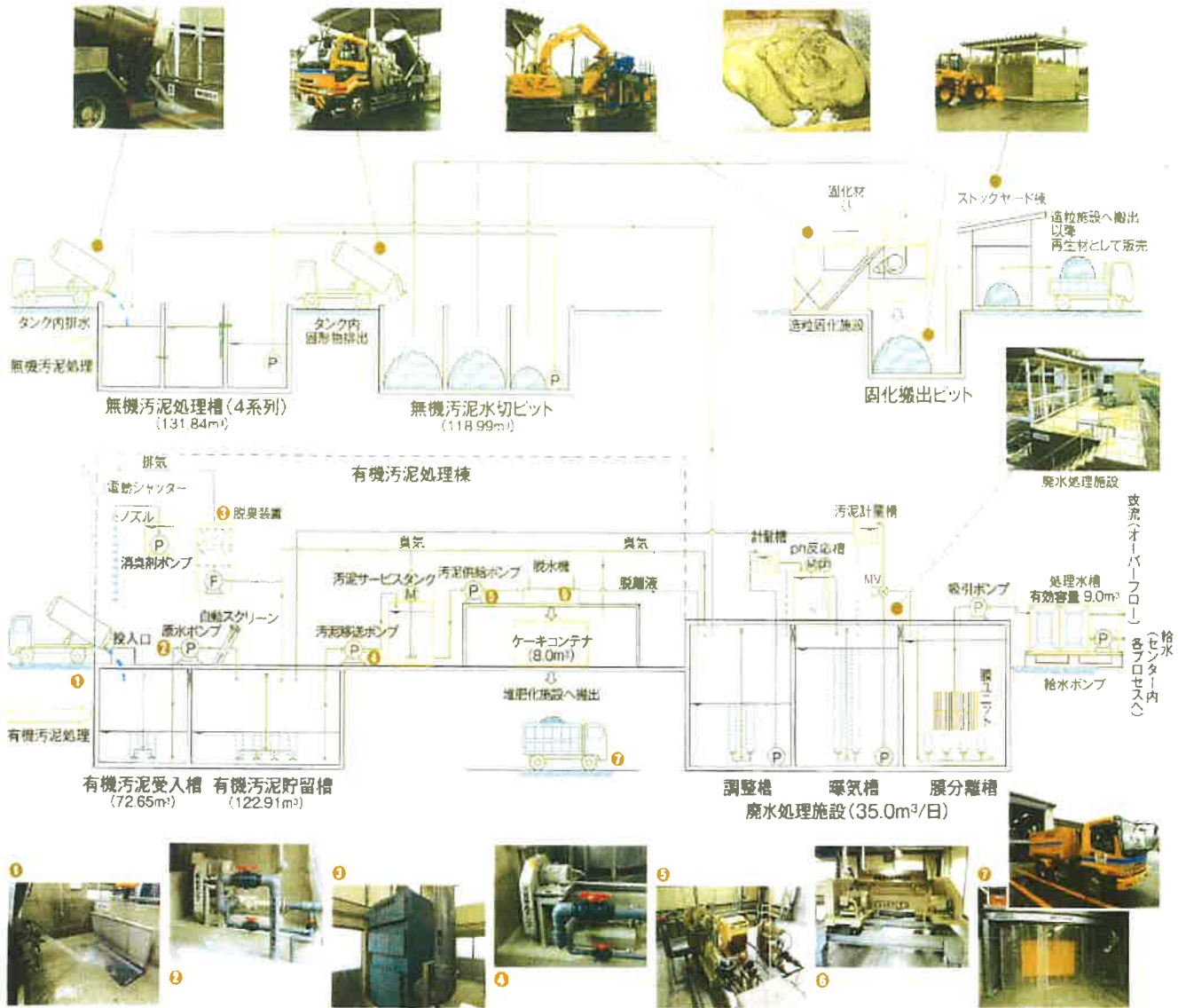
11 廃棄物処理業に関する情報公開

事業所名	株式会社 理水興業										
代表者名	今野 秀實										
所在地	〒025-0065 岩手県花巻市星が丘二丁目16-12										
連絡先	電話	0198-23-5395	ファクス	0198-23-6078							
	E-mail	risui.top9@dance.ocn.ne.jp	URL	http://www.risui-kogyo.co.jp/							
事業計画の概要	当社の関係事業を通じて、資源循環型社会構築を目的とし、低炭素社会構築に貢献する。										
事業の範囲	岩手県内一円										
事業の規模	事業年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度							
	売上高(千円)	1,486,515千円	1,192,710千円	1,614,639千円							
	産廃収集運搬量	9086.800 t	12646.464 t	13299.336 t							
	一廃収集運搬量	3542.04t	3475.46t	3529.29 t							
	処分量	5969t	5501t	5246 t							
	従業員(名)	83名	83名	84名							
法人設立年月日	昭和47年9月5日		資本金	4000万							
産業廃棄物処理処分量許可一覧											
許可の内容	許可名	許可番号		許可名	許可番号						
		許可有効期限			許可有効期限						
	産業廃棄物収集運搬業(岩手普通)	許可	312007199(別表1)		産業廃棄物収集運搬業(岩手特管)	許可	362007199(別表1)				
		有効	R3.9.16~R8.9.15			有効	H30.7.30~R5.7.29				
	産業廃棄物収集処分量(岩手)	許可	32207199		産業廃棄物処理業(盛岡市)汚泥(移動式脱水施設による脱水処理)	許可	11022007199				
		有効	R3.4.16~R8.4.15			有効	R3.4.16~R8.4.15				
	産業廃棄物収集処分量(岩手)汚泥	許可	32207199								
		有効	R3.4.16~R8.4.15								
	産業廃棄物収集運搬業(秋田普通)	許可	504007199(別表3)					産業廃棄物収集運搬業(秋田特管)	許可	554007199(別表3)	
		有効	R2.6.22~R7.6.21						有効	R2.4.20~R7.4.19	
	産業廃棄物収集運搬業(宮城普通)	許可	400007199(別表2)					産業廃棄物収集運搬業(宮城特管)	許可	450007199(別表2)	
		有効	R4.3.12~R9.3.11						有効	R4.3.12~R9.3.11	
	一般廃棄物処理処分量許可一覧										
	一般廃棄物処理業	許可	花巻市(第244-15号)					事業系ごみ・家庭系ごみ・浄化槽汚泥の収集運搬			
		有効	R4.3.29~R6.3.31								
一般廃棄物処理業	許可	北上市(第462号積降し)		一般廃棄物の収集運搬業							
	有効	R5.5.1~R7.4.30									
その他清掃業に伴う業許可一覧											
建築物飲料水貯水槽清掃業	許可	岩手県53二十三貯第2号		建築物飲料水貯水槽業							
	有効	H29.9.1~R5.8.31									
建築物排水清掃業	許可	岩手県53二十六排第1号		建築排水管清掃業							
	有効	R2.12.16~R8.12.15									
地下タンク等点検業	許可	地(7)第03005号		地下タンク等点検業							
	有効	R元6.1~R6.5.31									
設備	設備名	能力・産廃の種類	台数	設備名	能力・産廃の種類	台数					
	汚泥リサイクルセンター	横軸遠心分離脱水機	1台	4 t ユニック車	2,850kg	1台					
		処理能力: 40 m ³ /日			塵芥車	4,500kg	1台				
		造粒固化施設			塵芥車	1,700kg	1台				
		処理能力: 100 t/日			塵芥車	4,450kg	1台				
		排水処理施設			塵芥車	4,500kg	1台				
		バックホー 0.45m ³			1台	冷蔵冷凍車	2,000kg	1台			
		ホイールローダー 1.2m ³			1台	バン	1,500kg	1台			
	ホークリフト 1.5t	1台	脱着装置付コンテナ専用車	3,850kg	1台						
	7 t ユニック車	6,900kg	1台	脱着装置付コンテナ専用車	7,800kg	1台					
	パワーゲート	1,800kg	1台	脱着装置付コンテナ専用車	7,900kg	1台					
	4 t ダンパー車	2,700kg	1台	脱着装置付コンテナ専用車	3,950kg	1台					
	Sモービル汚泥吸引車	8,880kg	1台	7 t トラック	8,000kg	1台					
	モービル汚泥吸引車	8,200kg	1台	洗浄車	4,500kg	1台					
	Sモービル汚泥吸引車	9,120kg	1台	洗浄車	2,500kg	1台					
	Sモービル汚泥吸引車	8,900kg	1台	工作車	2,000kg	1台					
	タンクローリー	10,040kg	1台	貯水車	1,000kg	1台					
	タンクローリー	11,160kg	1台	トリータ固液分離車	36m ³ /日(4.5m ³ /時間)	1台					
	バキューム車	3,400kg	1台	カーネーション袋脱水車		1台					
	バキューム車	3,500kg	1台	バキューム車	3,700kg	2台					
	バキューム車	3,600kg	1台	バキューム者	5,200kg	1台					
	バキューム車	3,600kg	1台	5 t ユニック	5,100kg	1台					
	積替施設面積&保管上限			保管量							
84.68m ²			35.7m ³								

12 処理方法・処理工程

汚泥リサイクルセンター パンフレット参照

無機性汚泥・有機性汚泥 処理フロー



廃棄物受入基準

収集運搬物・処理物	受入基準
汚泥	有機性汚泥 (特管産業廃棄物であるものを除く。)
	無機性汚泥 (特管産業廃棄物であるものを除く。)
廃棄物の処理料金については当社営業までお問い合わせください。	

13 受託した産業廃棄物の収集運搬処理量

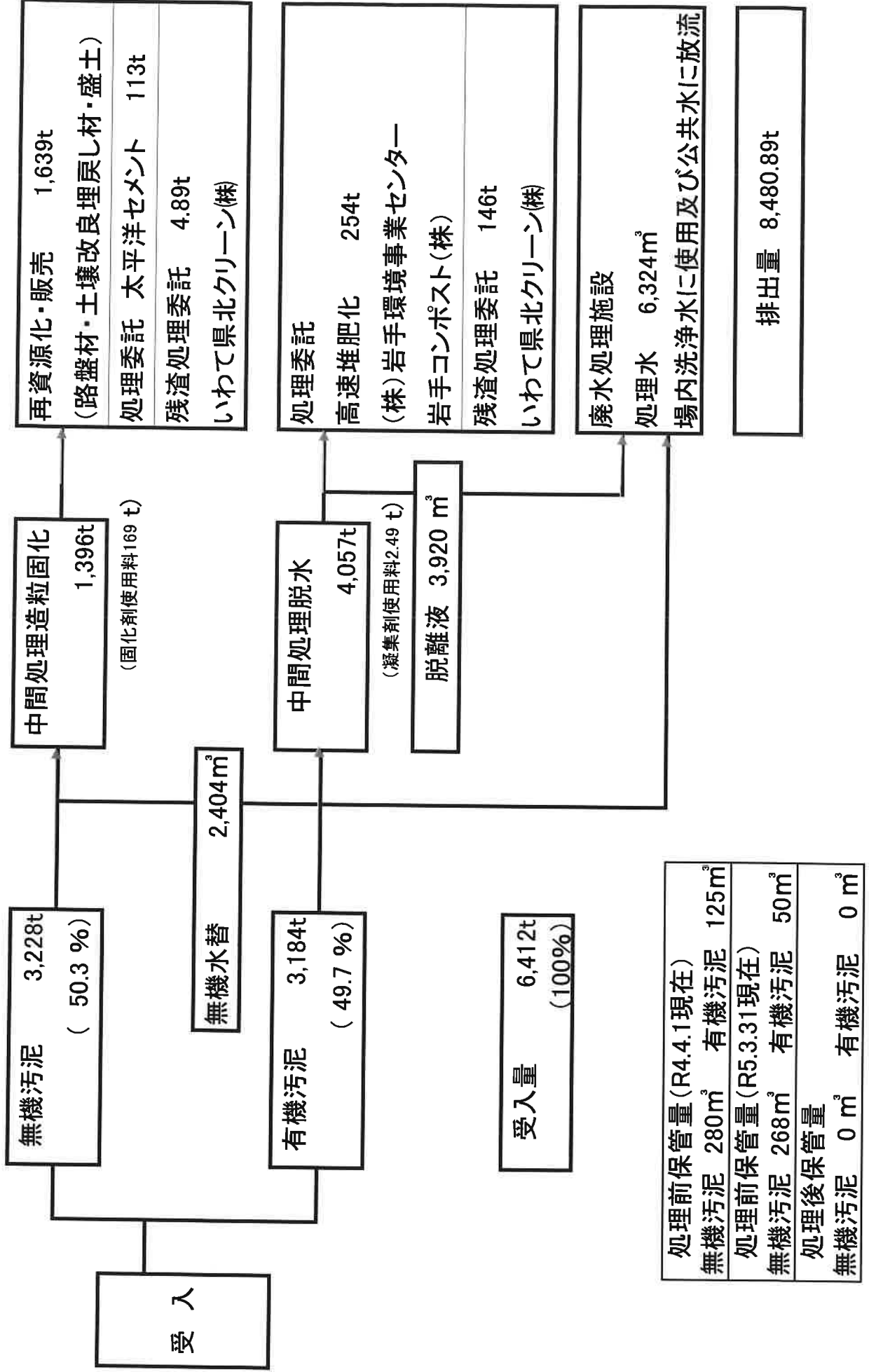
令和4年度

処理方法等	廃棄物等種類	令和2年度処理量 t	令和3年度処理量 t	令和4年度処理量 t
収集運搬	燃え殻	2.19	1.65	2.38
	汚泥	7208.34	10679.167	10926.782
	廃油	716.30	661.465	670.449
	廃酸	158.12	203.027	80.318
	廃アルカリ	156.05	153.781	320.272
	廃プラスチック	367.43	333.406	317.281
	紙くず	0.00	0.49	0.00
	木くず	14.86	11.87	16.547
	動物性残渣	181.09	146.42	464.19
	繊維くず	0.00	0	0.00
	金属くず	54.95	97.184	53.772
	ガラス陶磁器	26.95	25.699	31.953
	がれき類	30.98	34.44	4.89
	鋳さい	0.15	0.43	0.00
	廃油（特管）	130.30	226.752	278.420
	廃アルカリ（特管）	0.00	0	2.185
	感染性	29.56	49.837	108.758
	廃石綿等	0.00	0	1.25
	汚泥（特管・有害）	8.61	16.371	14.851
	廃油（特管・有害）	0.00	1.694	1.000
	廃酸（特管・有害）	0.00	0	0.000
	廃アルカリ（特管・有害）	0.42	1.067	0.000
	家畜の糞尿	0.00	1.64	3.75
強酸	0.00	0.074	0.288	
令和3年度収集運搬量合計			13299.336	
中間処理	汚泥	脱水、造粒固化		6,412 t
中間処理合計				
再資源化	汚泥			6,412 t

【汚泥リサイクルセンターにおける環境への負荷の実績】

		単位	R2年度	R3年度	R4年度
① 総エネルギー投入量	購入電力	MJ	1801180	1742229	1802723
	化石燃料	MJ	600239	768264.2	759718.3
	新エネルギー	MJ	/	/	/
	LPG	MJ	94	73	42
② 総物質投入量	資源投入量	t	/	/	/
	循環資源投入量	t	/	/	/
③ 水資源投入量	上水	m ³	300	512	270
	工業用水	m ³	/	/	/
	地下水	m ³	/	/	/
【④ 温室効果ガス排出量】	【二酸化炭素】購入電力	Kg-CO ₂	101877	98543.22	101964.84
	【二酸化炭素】化石燃料	Kg-CO ₂	142386	150406	154059
【⑤ 総排水量】	公共用水域	m ³	5938	5257	6324

産業廃棄物の処理工程(令和4年4月～令和5年3月)



排出量 8,480.89t

岩手県			許可一覧																				
許可番号	許可年月日	許可期限	取り扱う産業廃棄物の種類																				
			燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラ	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残渣	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラス陶磁器くず	がれき類	動物の糞尿	動物の死体	ばいじん	処分したものに処		
312007199	R3.9.16	R8.9.15	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
岩手県(処分)			許可一覧																				
許可番号	許可年月日	許可期限	取り扱う産業廃棄物の種類																				
322007199	R3.4.16	R8.4.15	◎※1	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
中間(造粒固化)			北上市口内町松越133-2、134-1、134-3 ※1:無機性汚泥に限る																				
中間(脱水処理)			北上市口内町松越133-2、134-1、134-3 ※2:有機性汚泥に限る																				
中間(移動式脱水)			中機場:岩手県花巻市天下田48番4																				
岩手県(特別管理産業廃棄物)			許可一覧																				
許可番号	許可年月日	許可期限	特別管理産業廃棄物の種類																				
362007199	H30.7.30	R5.7.29	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	
特別管理産業廃棄物の種類			他、許可証の通り																				
特別管理産業廃棄物の種類			◎:積替保管(保管場所花巻市天下田48-4) 自動車等破砕物を除く 別表.5のとおり																				

◎:積替保管(保管場所花巻市天下田48-4) 自動車等破砕物を除く 別表.5のとおり

他、許可証の通り

別表. 4

積み替え保管施設の概要

所在地：岩手県花巻市天下田48番4

廃棄物の種類	保管高さ (m)	保管面積 (m ²)	保管体積 (m ³)	保管重量 (t)	備考
燃え殻及び汚泥	—	7.02	2.4	—	屋内
廃油	—	20.84	8.8	—	屋内
廃酸	—	3.24	1.6	—	屋内
廃アルカリ	—	3.24	1.6	—	屋内
廃プラスチック類	—	24.85	15	—	屋内

別表. 5

積み替え保管施設の概要

所在地：岩手県花巻市天下田48番4

特別管理産業廃棄物

廃棄物の種類	保管高さ (m)	保管面積 (m ²)	保管体積 (m ³)	保管重量 (t)	備考
燃え殻及び汚泥	—	7.02	1.2	—	屋内
廃油	—	11.99	3.5	—	屋内
廃酸	—	3.24	0.8	—	屋内
廃アルカリ	—	3.24	0.8	—	屋内

別表.2

株式会社 理水興業

宮城県			許可一覧	
許可番号	許可年月日	許可期限	取り扱う産業廃棄物の種類	
400007199	R4.3.12	R9.3.11	燃え殻	ばいじん
			汚泥	動物の死体
			廃油	動物の糞尿
			廃アルカリ	がれき類
			廃酸	鉱さい
			汚泥	ガラス陶磁器くず
			燃え殻	金属くず
				ゴムくず
				動物系固形不要物
				動植物性残渣
				繊維くず
				木くず
				紙くず
				廃アラ
				廃アルカリ
				廃酸
				廃油
				汚泥
				燃え殻
				処理したものに処
				積替保管なし
宮城県(特別管理産業廃棄物)			許可一覧	
許可番号	許可年月日	許可期限	特別管理産業廃棄物の種類	
450007199	R4.3.12	R9.3.11	燃え殻	水銀
			汚泥	カドミウム
			廃油	鉛
			廃アルカリ(強)	有機燐
			感染性	六価クロム
			廃PCB	ヒ素
			PCB汚染物	シアン
			PCB処理物	P C B
			指定下水汚泥	トリクロ
			廃石綿等	テトクロ
				ジクロロ
				四塩化炭素
				1・2ジクロロ
				1・1ジクロロ
				シス1
				2ジクロロエチレン
				1・1・1トリクロ
				1・1・2トリクロ
				1・3ジクロロ
				チラウム
				シマジン
				チオベンカルブ
				ベンゼン
				セレン
				1・4ジオキサソ
				ダイオキシン
				積替保管なし

別表.3

株式会社 理水興業

秋田県		許可一覧	
許可番号	許可年月日	許可期限	取り扱う産業廃棄物の種類
504007199	R2.6.22	R7.6.21	<input type="checkbox"/> 燃え殻 <input type="checkbox"/> 汚泥 <input type="checkbox"/> 廃油 <input type="checkbox"/> 廃酸 <input type="checkbox"/> 廃アルカリ <input type="checkbox"/> 廃プラ <input type="checkbox"/> 紙くず <input type="checkbox"/> 木くず <input type="checkbox"/> 繊維くず <input type="checkbox"/> 動植物性残渣 <input type="checkbox"/> 動物系固形不要物 <input type="checkbox"/> ゴムくず <input type="checkbox"/> 金属くず <input type="checkbox"/> ガラス陶磁器くず <input type="checkbox"/> 鉱さい <input type="checkbox"/> がれき類 <input type="checkbox"/> 動物の糞尿 <input type="checkbox"/> 動物の死体 <input type="checkbox"/> はいじん <input type="checkbox"/> 処分するために処理したもの
秋田県(特別管理産業廃棄物)			
554007199	R2.4.20	R7.4.19	<input type="checkbox"/> 燃え殻 <input type="checkbox"/> 汚泥 <input type="checkbox"/> 廃油 <input type="checkbox"/> 廃アルカリ(強) <input type="checkbox"/> 特定有害産業廃棄物 <input type="checkbox"/> 感染性 <input type="checkbox"/> 廃PCB <input type="checkbox"/> PCB汚染物 <input type="checkbox"/> PCB処理物 <input type="checkbox"/> 指定下水汚泥 <input type="checkbox"/> 廃石綿等 <input type="checkbox"/> 水銀 <input type="checkbox"/> カドミウム <input type="checkbox"/> 鉛 <input type="checkbox"/> 有機燐 <input type="checkbox"/> 六価クロム <input type="checkbox"/> ヒ素 <input type="checkbox"/> シアン <input type="checkbox"/> PCB <input type="checkbox"/> トリクロ <input type="checkbox"/> テトクロ <input type="checkbox"/> ジクロロ <input type="checkbox"/> 四塩化炭素 <input type="checkbox"/> 1・2ジクロロ <input type="checkbox"/> 1・1ジクロロ <input type="checkbox"/> シス1 <input type="checkbox"/> 2ジクロロエチレン <input type="checkbox"/> 1・1・1トリクロ <input type="checkbox"/> 1・1・2トリクロ <input type="checkbox"/> 1・3ジクロロ <input type="checkbox"/> チラウム <input type="checkbox"/> シマジン <input type="checkbox"/> チオベンカルブ <input type="checkbox"/> ベンゼン <input type="checkbox"/> セレン <input type="checkbox"/> 1・4ジオキサソ <input type="checkbox"/> ダイオキシン

積替保管なし